

4月1日より新たに42.4ha、1,044世帯の家庭で公共下水道が利用できるようになりました。これで市内全世帯のおよそ8割（82.0%）にあたる24,040世帯で下水道の利用が可能になります。

## ■ 排水設備工事の依頼は指定工事店へ

下水道を使用するためには、市の公共下水道の基準に合う排水設備工事が必要です。指定工事店は、基準に合った排水設備工事をするための技術を習得しているのので、必ず指定工事店へ依頼してください。実際の工事費用や期間は各家庭の状況により異なるので、見積書を取るなど指定工事店とよく話し合って契約してください。

## ■ 工事資金は無利子の融資で

排水設備工事を行う皆さんの負担が少なくなるよう、金融機関から無利子で工事資金の融資を受けられる制度があります。

**対** くみ取り便所を水洗便所に改造したり、浄化槽を廃止して排水設備を下水道に接続する工事

**融資限度額** 1か所80万円（2か所以上の場合は100万円）

**償還方法** 融資を受けた月の翌月から60か月以内の元金均等

※連帯保証人など、市や金融機関が定める条件があります。

**申** 下水道が使用できる区域になってから3年以内に指定工事店

## ■ 雨水を貯めたり、浸透させる施設の設置に補助金があります

下水道に接続することによって、不用となった浄化槽を雨水貯留槽に改造する工事や、新たに雨水貯留槽などを設置する場合に補助金を交付します。この施設は庭木の散水などに利用でき、資源の有効利用や水道料金・下水道使用料の節約になります。

**補助対象** ①浄化槽転用貯留槽②雨水貯留槽③雨水浸透ます④雨水浸透管⑤雨水浸透側溝⑥透水性舗装

**補助金** ①工事費の3分の2（限度額75,000円）②～⑥工事費の2分の1（限度額あり）

**申** 下水道課管理業務係又は指定工事店

## ■ 下水道使用料

下水道を使用すると、くみ取りや浄化槽点検・清掃の費用が不要になります。しかし、汚水処理や下水管の維持管理のため、下水道使用料を納めていただきます。下水道使用料は、使用者が毎月排出した汚水の量によって決定します。水道水の使用量を汚水の量とし、家事用に井戸水を使用している場合は、使用状況により量を決定します。

使用料は、水道料金と一緒に納めていただきます。井戸水を使用しており、世帯の人数や使用状況に変更がある場合は、変更届を提出してください。

## 4月1日(木)受付開始 スマートハウス設備設置費補助金

市では、住宅用太陽光発電システム、住宅用燃料電池システム、住宅用リチウムイオン蓄電池システム、住宅用次世代自動車等充給電設備及び住宅用エネルギー管理システム（HEMS）の設置に対し、補助を行います。なお、住宅用太陽光発電システムは、HEMSと蓄電池又はHEMSと自動車等充給電設備との一体的導入の場合のみ補助対象です。

### ①住宅用太陽光発電システム

太陽光エネルギーを電力に変換する装置

※一体的導入のみ補助対象です。

### ②住宅用燃料電池システム

水素を燃料として、発電と給湯を同時に行う装置

### ③住宅用リチウムイオン蓄電池システム

太陽光で発電した電気を蓄え、夜間に利用する装置

### ④住宅用次世代自動車等充給電設備

太陽光で発電した電気を車に蓄え、走行に使用したり、家庭で利用する装置

### ⑤住宅用エネルギー管理システム（HEMS）

家庭内の電気機器を効率よく自動制御する装置

### 補助金額

|           |           |
|-----------|-----------|
| ①③⑤の一体的導入 | 一律27万円    |
| ①④⑤の一体的導入 | 一律22万円    |
| ②のみの設置    | 1基当たり10万円 |
| ③のみの設置    | 1基当たり10万円 |
| ④のみの設置    | 1基当たり5万円  |
| ⑤のみの設置    | 1基当たり1万円  |

※予算の範囲内で順次受け付けます。

**申** 4月1日(木)より環境課環境保全係 ☎95-9900

※設置工事の着工前に申請してください。申請書は環境課窓口又は市ホームページから入手できます。